

I 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の概要

1 実施概要

- (1) 実施日 令和7年4月17日（木）
- (2) 対象学年 小学校第6学年・中学校第3学年
- (3) 実施教科等

ア 教科に関する調査

- ・小学校第6学年：国語、算数、理科
- ・中学校第3学年：国語、数学、理科

注：「主として『知識・技能』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」とを一体的に問う問題が出題されている。

注：中学校理科はC B Tで実施

イ 質問調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する児童生徒に対する調査
- ・学校における指導方法に関する取組等の学校に対する調査

注：1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施

2 平均正答率の状況

	国語			算数・数学			理科		
	京都府 (京都市 含む)	京都府 (京都市 除く)	全国	京都府 (京都市 含む)	京都府 (京都市 除く)	全国	京都府 (京都市 含む)	京都府 (京都市 除く)	全国
小学校	69	67	66.8	60	59	58.0	60	58	57.1
中学校	55	54	54.3	49	48	48.3	500	491	503

注：都道府県別の平均正答率については、整数値のみ公表することとされている。

注：中学校理科の結果はI R Tスコア・バンドで示されている。

3 結果の概要

○ 教科に関する調査

小学校は全ての教科で平均正答率が全国平均以上、中学校はすべての教科で平均正答率が全国平均と同程度であり、下位層(C, D層)の割合が小学校は全国よりも低く、中学校は全国と同程度である。

○ 質問調査

- ・京都府においては、授業におけるI C T機器の使用頻度が全国に比べて高い。
- ・京都府においては、全国と比較して就学援助率が高い割合である学校が多い。